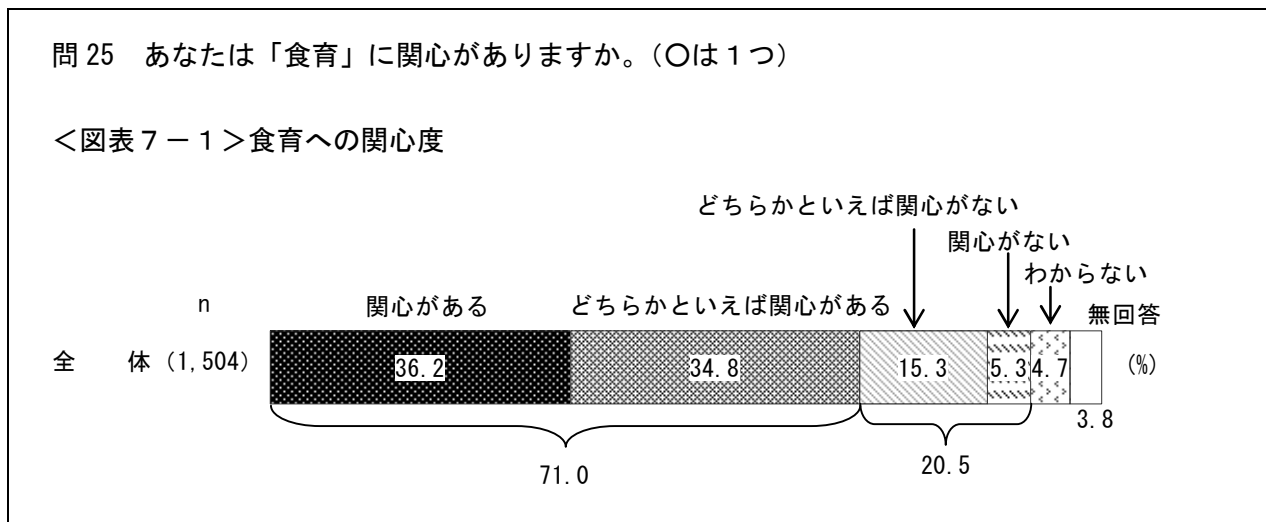


7 食育について

(1) 食育への関心度

◇『関心がある』は7割を超えている



「食育」について関心があるかを聞いたところ、「関心がある」(36.2%)は3割台半ばとなっており、「どちらかといえば関心がある」(34.8%)を合わせた『関心がある』(71.0%)は7割を超えている。一方、「どちらかといえば関心がない」(15.3%)と「関心がない」(5.3%)を合わせた『関心がない』(20.5%)は2割となっている。(図表7-1)

【地域別】

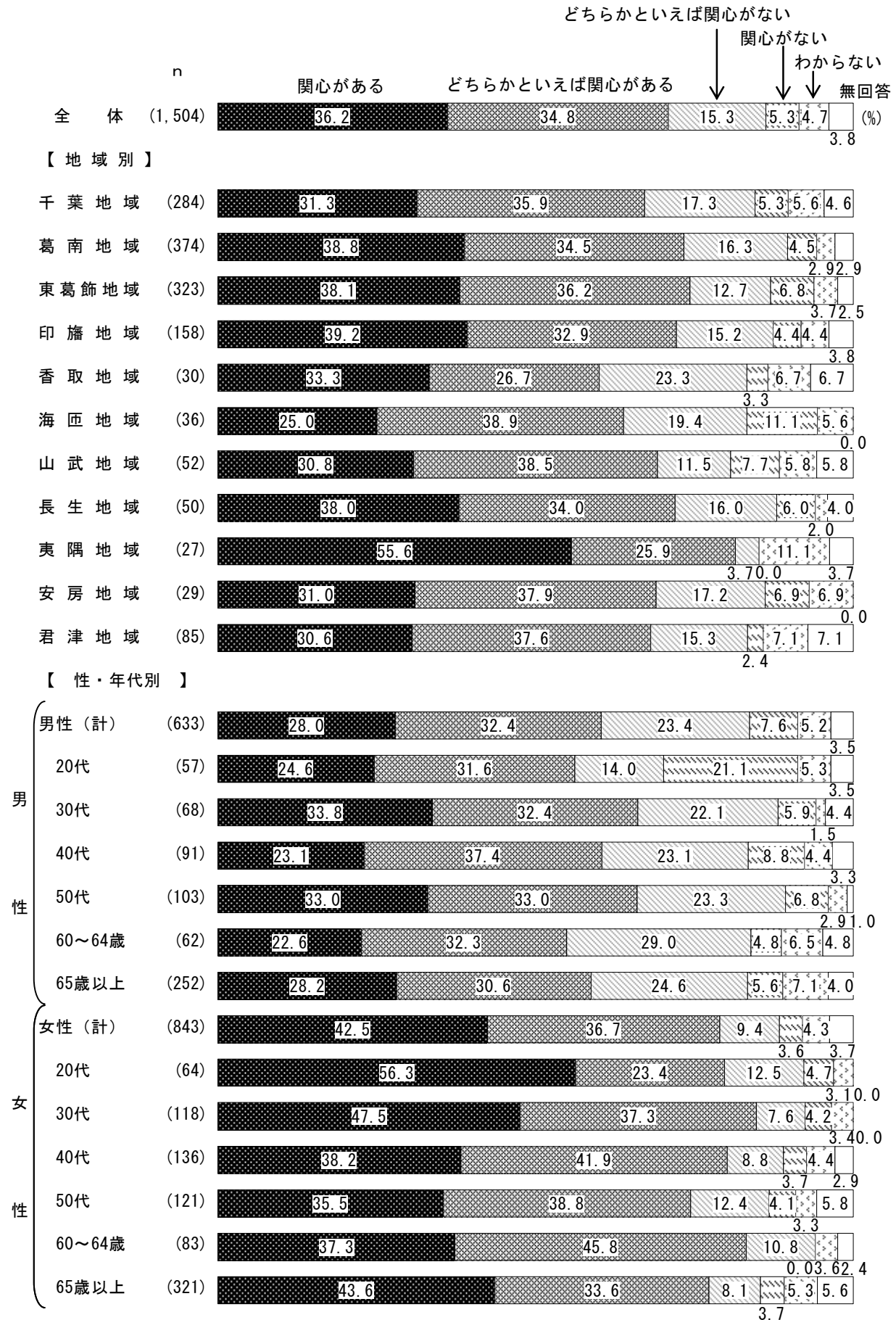
地域別にみると、「関心がある」は“夷隅地域”(55.6%)で5割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表7-2)

【性・年代別】

性別でみると『関心がある』は女性(79.1%)の方が約8割と高く、性・年代別では女性の30代(84.7%)、女性の60~64歳(83.1%)で8割台半ばと高くなっている。

一方、『関心がない』は、男性の20代(35.1%)や男性の60~64歳(33.9%)で3割台半ばと、他の年代に比べて高くなっている。(図表7-2)

<図表7-2> 食育への関心度／地域別、性・年代別



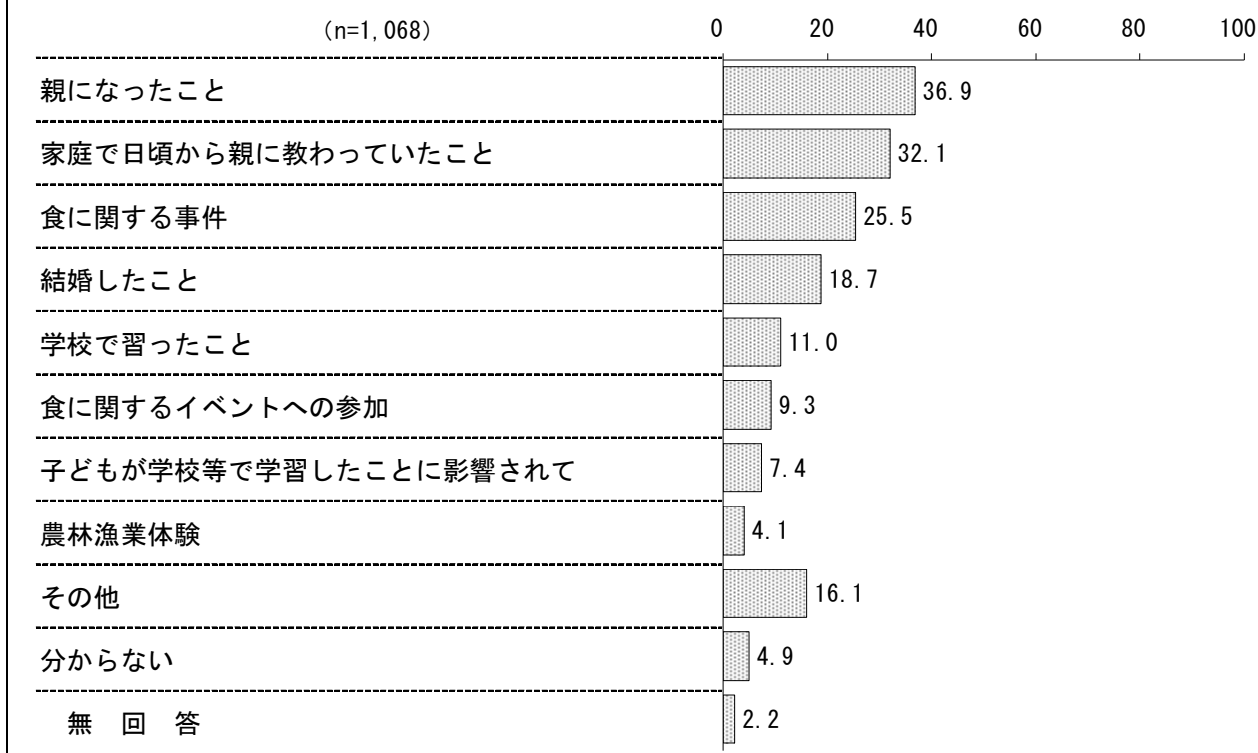
(2) 食育に関心を持ったきっかけ

◇「親になったこと」が3割台半ばと最も高い

(問25で「関心がある」「どちらかといえば関心がある」とお答えの方に)

問26 あなたが「食育」に関心を持ったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

<図表7-3>食育に関心を持ったきっかけ(複数回答)



「食育」に「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」と回答した人に、食育に関心をもったきっかけを聞いたところ、「親になったこと」(36.9%)が3割台半ばと最も高く、以下、「家庭で日頃から親に教わったこと」(32.1%)が3割を超え、「食に関する事件」(25.5%)、「結婚したこと」(18.7%)と続く。(図表7-3)

【地域別】

地域別にみると、「親になったこと」は“東葛飾地域”(42.9%)、“山武地域”(41.7%)で4割を超えて他の地域に比べて高くなっている。

「食に関する事件」は“東葛飾地域”(31.7%)、“長生地域”(30.6%)で3割以上と他の地域に比べて高くなっている。(図表7-4)

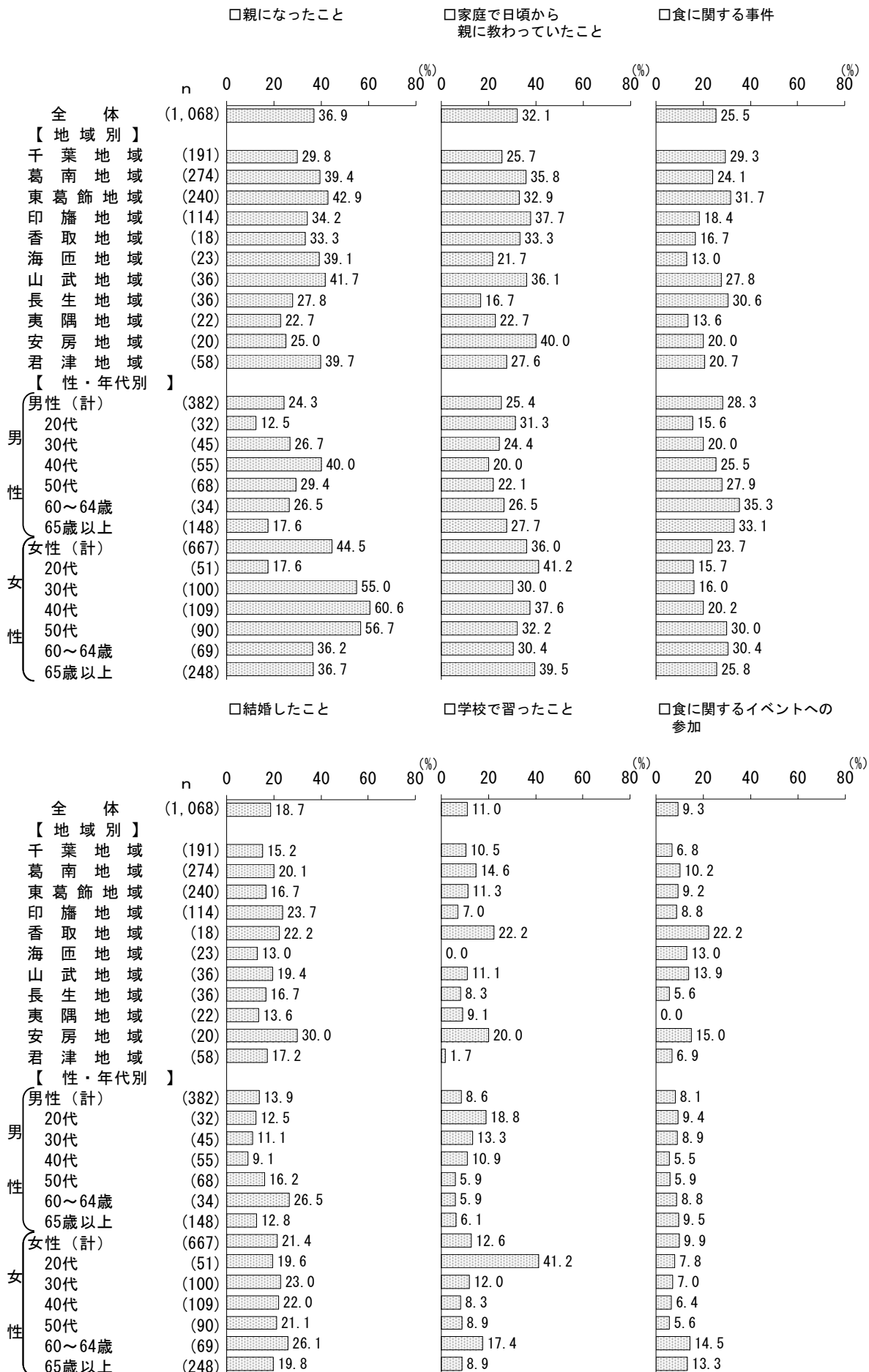
【性・年代別】

性・年代別でみると「親になったこと」は女性の40代(60.6%)で6割、女性の50代(56.7%)、女性の30代(55.0%)で5割台半ばと高くなっている。

「学校で習ったこと」は女性の20代(41.2%)で4割を超えて、他の年代に比べて高くなっている。

(図表7-4)

<図表7-4> 食育に関心を持ったきっかけ（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）

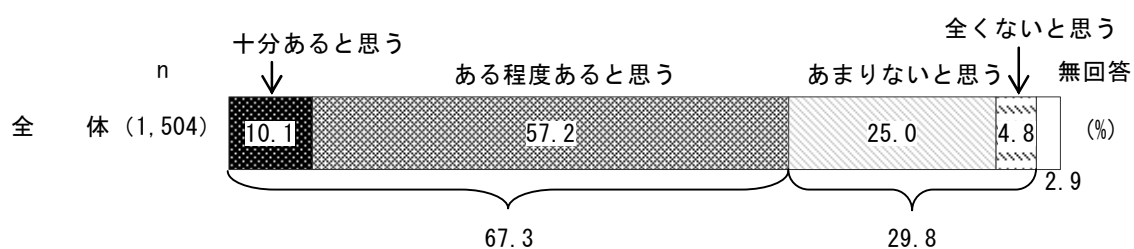


(3) 健康に悪影響を与えない食品選択や調理の知識があると思うか

◇『あると思う』は約7割

問27 あなたは、健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選択すると良いかや、どのような調理が必要かについて知識があると思いますか。(〇はいくつでも)

<図表7-5>健康に悪影響を与えない食品選択や調理の知識があると思うか



健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選択するとよいかや、どのような調理が必要かについて知識があると思うかを聞いたところ、「十分あると思う」(10.1%)は1割で、「ある程度あると思う」(57.2%)を合わせた『あると思う』(67.3%)は約7割となっている。

一方、「あまりないと思う」(25.0%)、「全くないと思う」(4.8%)を合わせた『ないと思う』(29.8%)は約3割となっている。(図表7-5)

【地域別】

地域別にみると、「十分あると思う」は“夷隅地域”(25.9%)で2割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。

一方、『ないと思う』は“君津地域”(40.0%)で4割と他の地域に比べて高くなっている。

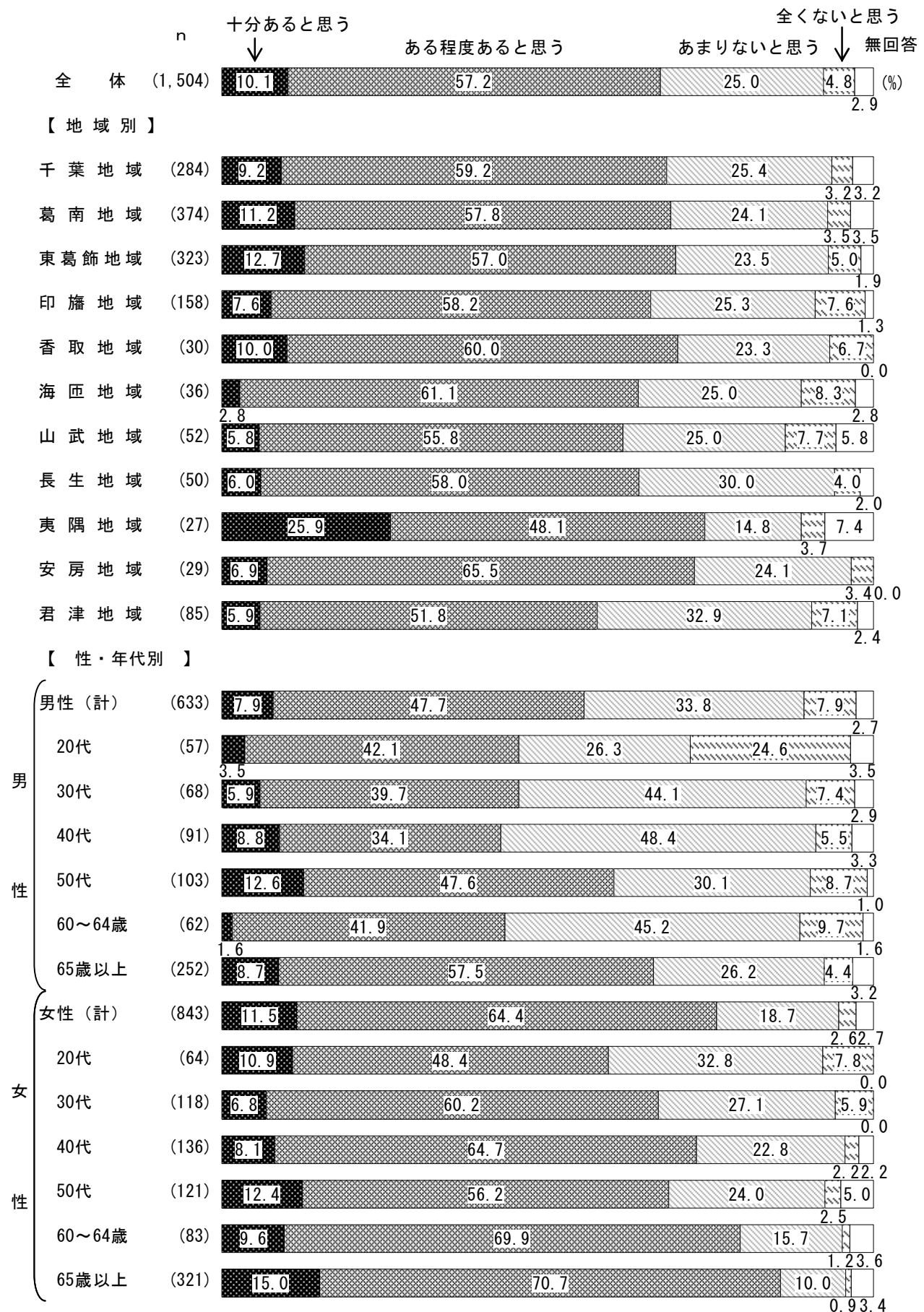
(図表7-6)

【性・年代別】

性別でみると『あると思う』は女性(75.9%)の方が7割台半ばと高く、性・年代別では女性の65歳以上(85.7%)で8割台半ばと特に高くなっている。

一方、『ないと思う』は男性の40代(53.8%)、男性の30代(51.5%)、男性の20代(50.9%)で5割以上と高く、『あると思う』を上回っている。(図表7-6)

<図表7-6>健康に悪影響を与えない食品選択や調理の知識があると思うか
 /地域別、性・年代別

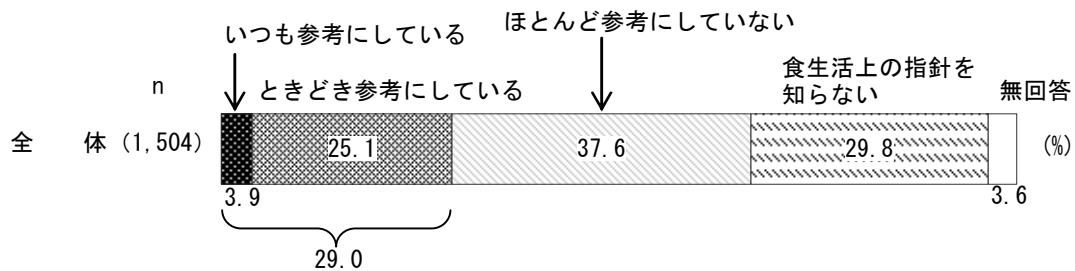


(4) 「ちば型食生活食事実践ガイドブック」、「食事バランスガイド」参考度

◇『参考にしている』は約3割

問28 県で提案している「ちば型食生活食事実践ガイドブック（ゲー・パー食生活ガイドブック）」（※1参照）、又は国が策定した「食事バランスガイド」（※2参照）等の何らかの食生活上の指針を参考にして、食生活を送っていますか。（○は1つ）

＜図表7-7＞「ちば型食生活食事実践ガイドブック」、「食事バランスガイド」参考度



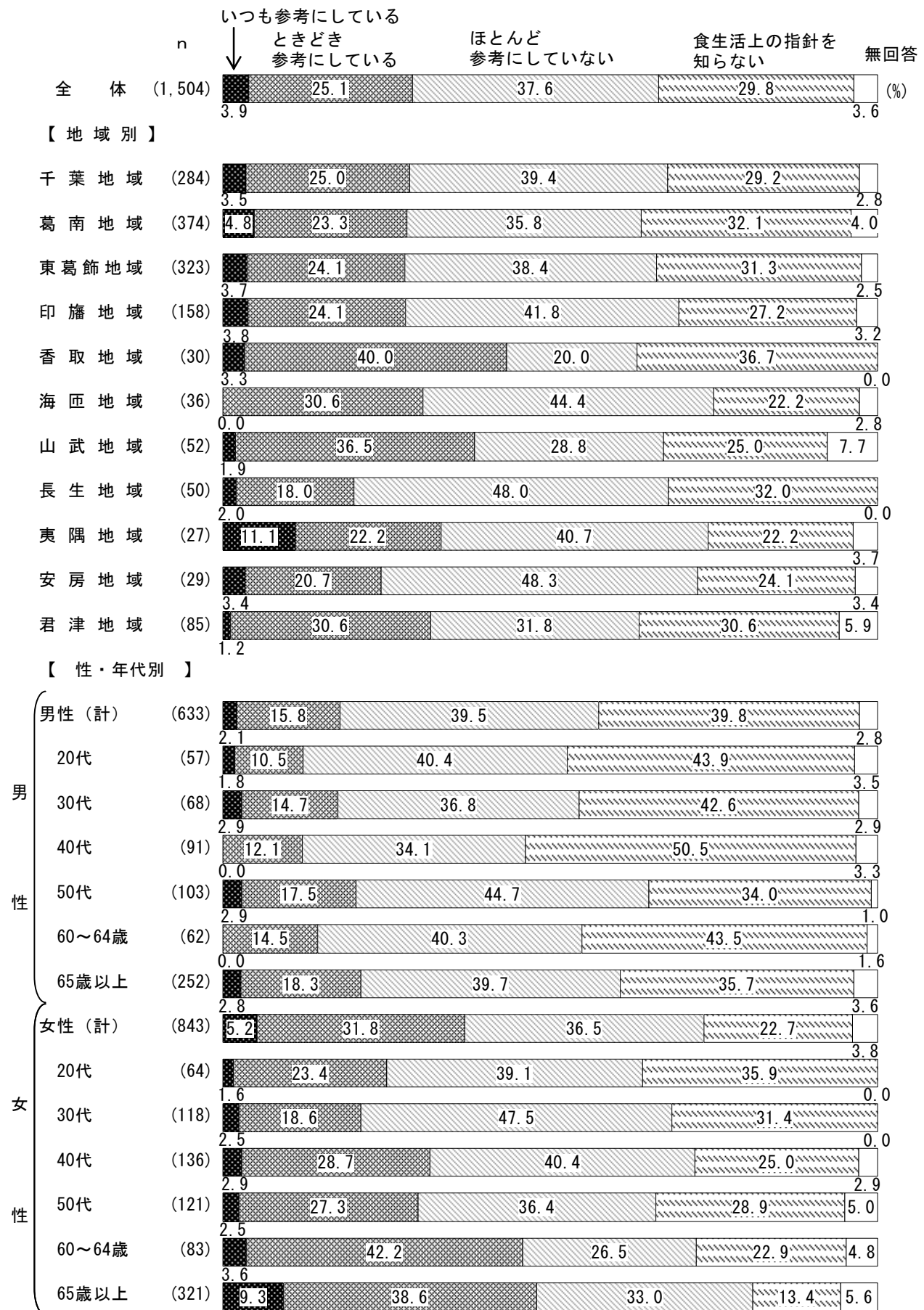
「ちば型食生活食事実践ガイドブック」、又は国が策定した「食事バランスガイド」等の何らかの食生活上の指針を参考にして食生活を送っているかを聞いたところ、「いつも参考にしている」（3.9%）は約4%で、「ときどき参考にしている」を合わせた『参考にしている』（29.0%）は約3割となっている。一方、「ほとんど参考にしていない」（37.6%）が約4割、「食生活上の指針を知らない」（29.8%）が約3割となっている。（図表7-7）

【性・年代別】

性別でみると『参考にしている』は女性（37.0%）の方が約4割と高く、性・年代別では女性の65歳以上（48.0%）で約5割、女性の60～64歳（45.8%）で4割台半ばと特に高くなっている。

一方、「食生活の指針を知らない」は男性の40代（50.5%）で5割と、他の年代に比べて特に高くなっている。（図表7-8）

＜図表7-8＞ 「ちば型食生活食事実践ガイドブック」、「食事バランスガイド」参考度
 ／地域別、性・年代別

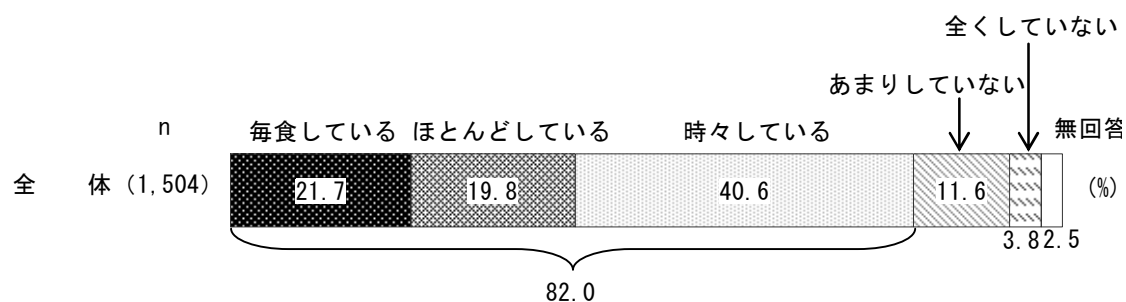


(5) 食を通じたコミュニケーションの実施状況

◇『している』は8割を超えている

問29 家族や友達と食卓を囲み、食事を楽しむ機会を持つなど、食を通じたコミュニケーションをとっていますか。(○は1つ)

<図表7-9>食を通じたコミュニケーションの実施状況



家族や友達と食卓を囲み、食事を楽しむ機会を持つなど、食を通じたコミュニケーションをとっているかを聞いたところ、「毎食している」(21.7%)が2割を超えており、「ほとんどしている」(19.8%)、「時々している」(40.6%)を合わせた『している』(82.0%)は8割を超えている。(図表7-9)

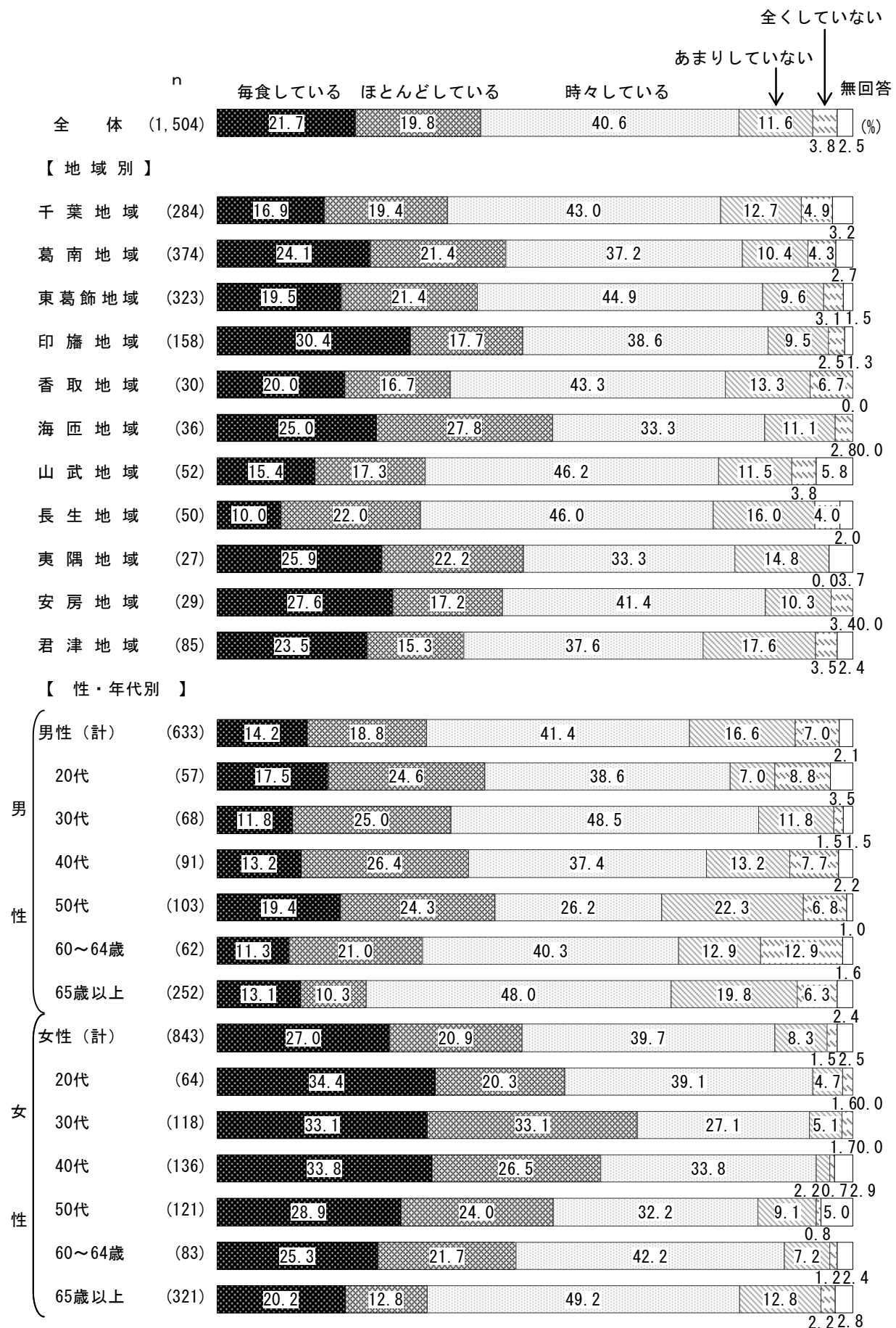
【地域別】

地域別にみると、「毎食している」は“印旛地域”(30.4%)で3割と他の地域に比べて高くなっている。(図表7-10)

【性・年代別】

性別でみると「毎食している」は女性(27.0%)の方が約3割と高く、『している』を性・年代別でみると女性の40代(94.1%)、女性の20代(93.8%)、女性の30代(93.2%)で9割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表7-10)

<図表7-10>食を通じたコミュニケーションの実施状況／地域別、性・年代別

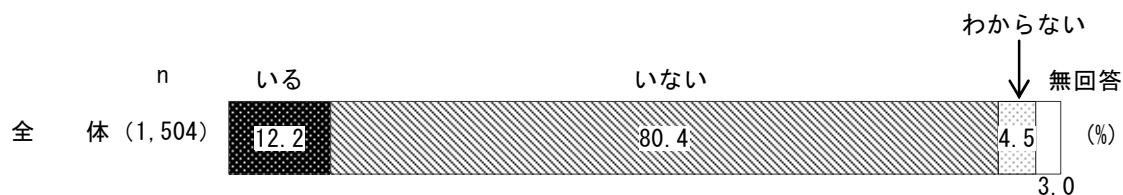


(6) 直近1年以内での農林漁業体験の参加経験

◇「いない」が8割

問30 直近1年以内に、あなた又はあなたの家族の中で農林漁業に関する体験に参加したことのある人はいますか。(○は1つ)

<図表7-11>直近1年以内での農林漁業体験の参加経験

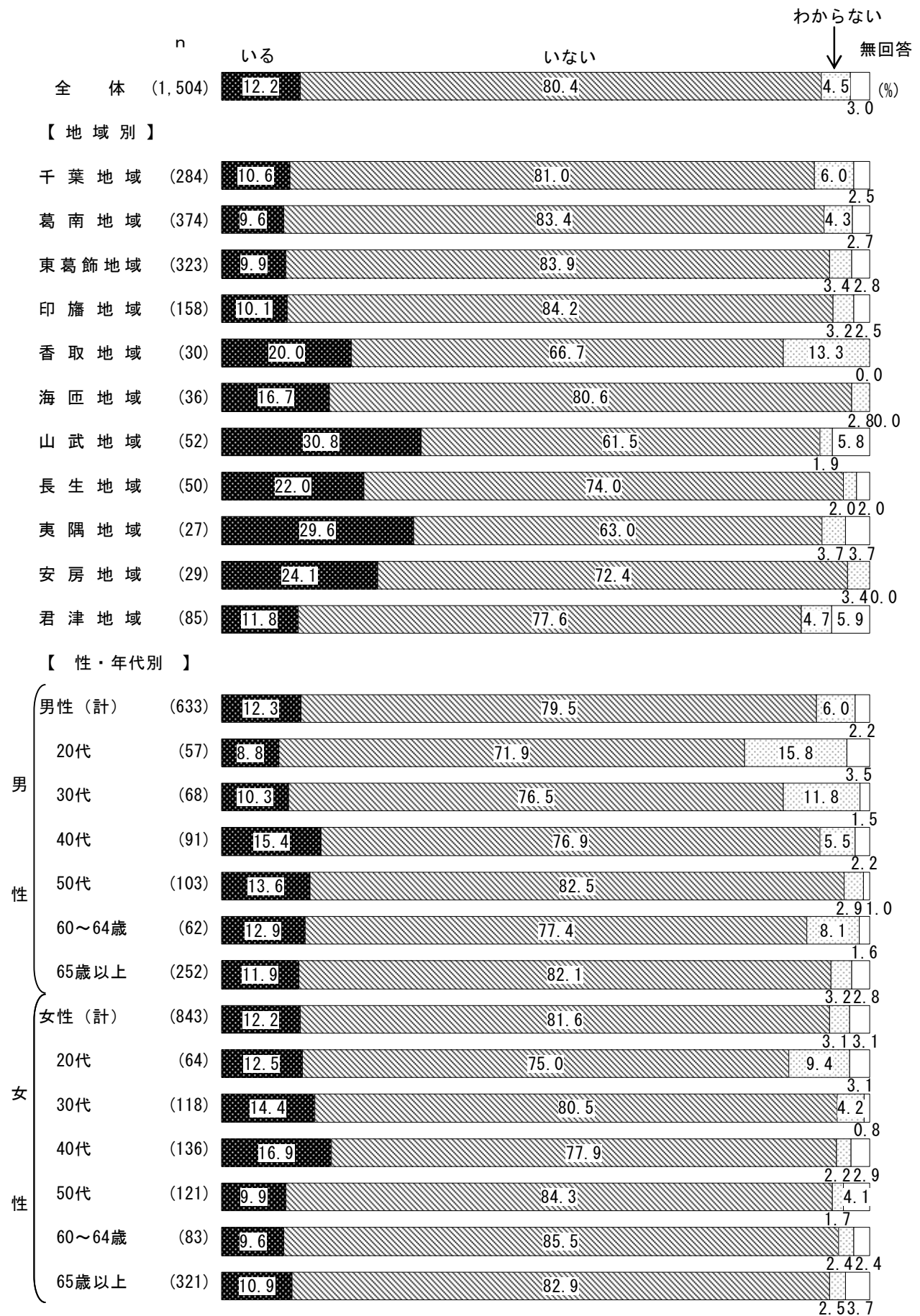


直近1年以内に、本人や家族の中で農林漁業に関する体験の参加経験を聞いたところ、「いない」(80.4%)が8割となっており、「いる」(12.2%)は1割を超えた程度となっている。(図表7-11)

【地域別】

地域別にみると、「いる」は“山武地域”(30.8%)で3割、“夷隅地域”(29.6%)で約3割、“安房地域”(24.1%)で2割台半ば、“長生地域”(22.0%)で2割を超えて、他の地域に比べて高くなっている。(図表7-12)

<図表7-12>直近1年以内での農林漁業体験の参加経験/地域別、性・年代別

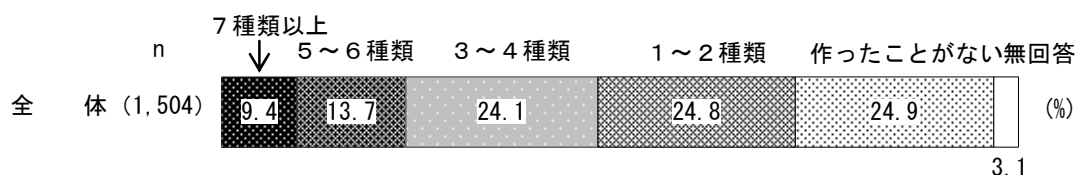


(7) お住まいの地域の郷土料理や行事食などの調理種類数

◇『作ることがある』が7割を超える

問31 我が国では、四季折々の様々な食材に恵まれ、長い年月を経て地域と結びついた郷土料理、行事食(※参照)、配膳方法、作法などの食文化が形成されてきました。あなたが住まいの地域の郷土料理や行事食などを、家庭で何種類作ることがありますか。(〇は1つ)

<図表7-13> お住まいの地域の郷土料理や行事食などの調理種類数



居住地の郷土料理や行事食などを、家庭で何種類作ることがあるかを聞いたところ、「1~2種類」から「7種類以上」の『作ることがある』(72.0%)が7割を超える。

そのうち「1~2種類」(24.8%)が2割台半ばと最も多く、次いで「3~4種類」(24.1%)、「5~6種類」(13.7%)が1割台半ば、「7種類以上」(9.4%)が約1割となっている。

一方、「作ったことがない」(24.9%)は2割台半ばとなっている。(図表7-13)

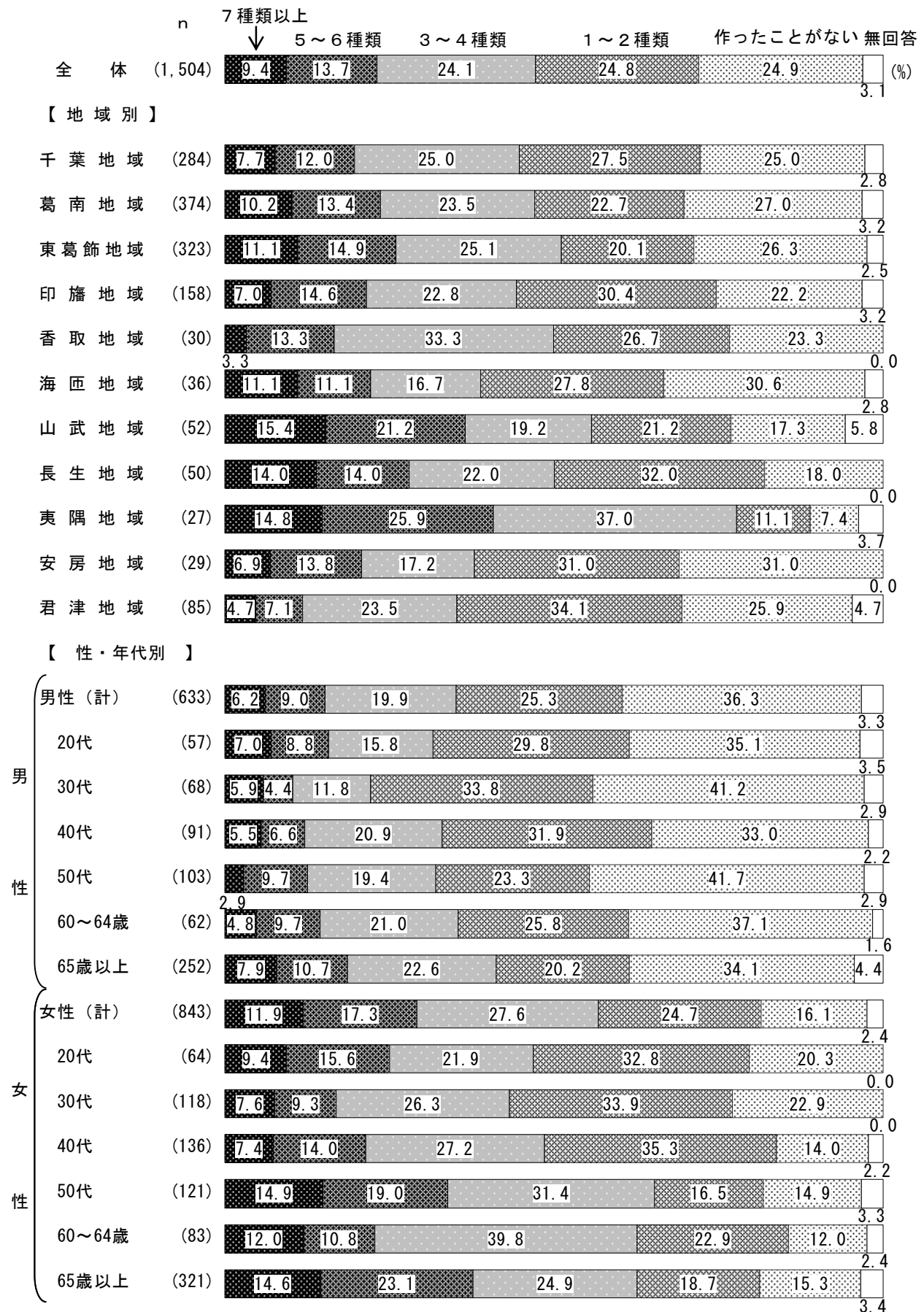
【地域別】

地域別にみると、『作ることがある』は“夷隅地域”(88.9%)で約9割と他の地域に比べて高くなっている。(図表7-14)

【性・年代別】

『作ることがある』は女性(81.5%)の方が8割を超えて高く、性・年代別では女性の60~64歳(85.5%)や女性の40代(83.8%)で8割台半ば、女性の50代(81.8%)や女性の65歳以上(81.3%)で8割を超えており、他の年代に比べて高くなっている。(図表7-14)

<図表7-14>お住まいの地域の郷土料理や行事食などの調理種類数／地域別、性・年代別



このほかに、「食育について」やここまでの質問（問25～問31）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、146人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「食育について」の自由回答（抜粋）

- 私の小さい頃は、行事がある季節の食事がとてもうれしかったです。その食事ができると、春・夏・秋・冬が感じられ、今でもあの頃を想い出すことがあります。このような季節を感じられる行事の食事があることをどんどん発信してほしいなと思います（TVのCMやら、使ったりして）。（女性、50代、葛南地域）

- 食育は、やはり家庭の影響が大きいと思います。家庭で小さい頃から栄養バランスのとれた食事をとることが大切。学校では具体的な献立の立て方やレシピを教えるでもいいのでは。（女性、20代、東葛飾地域）

- 食事は身体・心の健康について本当に大事な事。子供達に幼稚園の頃から食育の機会を作り、教えて欲しい（現在家庭での教育が不安有り）。又、県は放射能や残留農薬などしっかりとした指導で食の安全を守って欲しい。（男性、65歳以上、葛南地域）

- 郷土料理（特にベッドタウン化してる地域）の広報はもっとしてもいいと思う。（男性、40代、東葛飾地域）

- ゲー・パー食生活、最初言葉だけで何の意味か分からなかった。同封されているチラシを読んで納得。とてもよく分かる説明で、もっと広く伝えてほしい。年齢がいくと、簡潔でとてもいい冊子です。参考になります。（女性、65歳以上、葛南地域）

- 大人の（幼児～20才の子供を持っている親 e t c）料理教室などであると参加したい。今よく目にするのは、赤ちゃん～5才以下や、お年寄りのものがほとんどなので。（女性、30代、葛南地域）

- 近くにスーパーはありますが、小さい子供がいて食には関心がありますが、お店の人などともっと会話ができたらいいなあと、いつも思います。栄養の事とかバランスとか調理法とか聞ける人がいたら、もっともっと利用すると思います。（女性、40代、印旛地域）

- 今は核家族化が進んでおり、若い世代は忙しい日々を送られている。縦のつながりが薄れていて、食生活も多様化されてきているので、行事食のイベントなども色々な場所で行われる事を望みます。（女性、65歳以上、千葉地域）

- 高齢者になっても病気がちにならないように、運動、文化、食生活は必要だと思うので、食に関する知識は必要だと思う。（男性、50代、長生地域）